



海外生活  
レポート

16



【アイルランド】  
IRELAND

築300年の  
郊外の家



レポーター  
まえだ まき  
前田 真貴さん

●アイルランド・ゴールウェイ在住

# アイルランドに 行きたくて行きたくて (後編)

今回は、今まで私がアイルランドで暮らしてきて感じたこと、思ったこと、気が付いたことを思いつくまに紹介します。

## 自然に囲まれ、今日も雨。

- 自然が豊富。とにかく緑。町から車で数分走ったら、羊と牛しかいない。
- 天気が悪い。毎日必ず一回は雨が降るし寒い。快晴は本当にまれ。天気予報でさえ、「Dry(雨が少ない)」か「Wet(雨がが多い)」の二通りしかない。私の住むゴールウェイは、風が強くて傘はすぐ壊れるので、フード付きのレインコートが必需品。

## 集まるのが大好きな ゆったりpeople。

- みんな人懐っこい。バス停で知らないおばあさんから、昨夜のドラマについて話しかけられたりすることもしょっちゅう。
- 家族の距離が本当に近い。車で片道2時間程度なら、毎週末実家に帰る。毎日電話をかける家族もざらで、親戚の集まりも多い。私は「親とは年に数回しか電話しない」と言ったら、ジョークと受け取られた。
- おしゃべり大好き。集団のまと

まりはいいけど、単独行動や決断は…。勤務先でもなぜかみんな、私に最終判断を聞く。

- お酒(ビール)が好き。毎回意識不明になるまで飲んで後悔するくせに、またパブに行く。給料(週払い)の大半をそこで使う人も。でも不思議と喧嘩は起こらない。
- 大人子ども問わずチョコレートには目がなし! チョコレートの詰め合わせなんて一日でなくなる。
- 時間にルーズ。ゆったりペース。「ちょっと待ってね」は1、2時間。「2、3日で届きます」は1、2週間。注文したものが間違っって届いたり、1年後に手紙が届いたこともある。再配達は有料なのに不確かなので、自分で取りに行くほうが確実。運転免許証を申請した時は、住所も資格も間違っって届いた。文句を言いに行ったら「忙しかったからね。」の一言。

## 「うーん…」なこと。

- 店が夕方5時半には閉まるし、日曜は大体休み。平日仕事している人たちで、土曜日のスーパーはものすごい行列。
- 食育はない? ビタミンやミネラルの話したら、歯科医院の

同僚でさえぴんとこない表情。

- 医療システムが極端。どんな症状でも自分のかかりつけ医にまず見てもらわないと専門医に診てもらえない。インフルエンザで診てもらった時、「水を大量に飲んでよく寝てね」と、処方箋すらもらえなかったのに約5,000円。専門医に診てもらおうような症状でも、1年待ちなんていうのもざらにある。

…なんだ、アイルランドに不満ばかりじゃない? とお思いかもしれませんが…。もちろん、日本に比べたら不便なことだらけだし、海外に住むなんてテレビのように簡単・かっこよいかはわからない。桜の時期になると日本が恋しくなるし、鬱にもなる。でも、日本に比べて長期休暇が取りやすいので、いろんな経験がしてみたい私にとっては、いい環境なのかもしれない(毎年1、2回は日本に帰って家族とゆっくり2週間過ごせるし、他にも色々な国に旅行に行ける)。なにより、アイルランド人のステキなパートナーに出会ったのも運命!? なんて思って、今日までしぶとくこの寒い国で過ごしています。

(文・写真:前田真貴さん)



アイルランド共和国  
人口:458万人  
面積:70,273km<sup>2</sup>  
首都:ダブリン

「この先、橋あり。馬車、馬、自転車、歩行者は通行禁止。」という標識。



屋外で急に産気づいた牛の出産!



卒業時の写真